夢と志【学校通信】

平成 24 年 10 月 24 日

第 40 号

西中の風

～『信頼と笑顔』毎日1,500の思いやりあふれる学校生活 ～

伊丹市立西中学校長
豊田　實

スクール・カウンセラー紹介

今回学校通信で紹介させていただくことになりました、スクールカウンセラーの　小山直子　と申します。この場をかりて私が普段感じていることや考えていることをお伝えすることで、生徒と保護者の皆様にスクールカウンセラーのことを少しでも知っていただく機会になれば嬉しく思います。

今年の４月に着任してからはやいもので半年が経ちました。職員室にいると、学校行事での生徒の様子や頑張っている姿を先生たちが話している光景を目にします。また、私と先生が話をする中で生徒の話がでてくることもあります。私はカウンセリング室にいる時間が長いので、生徒の顔と名前はほとんど知りません。しかし、先生たちが楽しそうに、あるいは嬉しそうに話してくれると、生徒のいきいきした様子が視覚的なイメージとして伝わってきて、私まで嬉しい気持ちになることがあります。校内を歩いているときには、話をしたこともない生徒が「あ、小山先生だ」と反応をしてくれたり、その日にあった出来事をいきいきとした表情で話してくれる生徒もいます。こういった場面にであうと、先生と生徒のエネルギーがお互いにプラスの影響を与え合っていて、学校の雰囲気がいきいきしたものになっているのではないかなと感じます。

この学校で私が感じた第一印象は「個性的」「自由」というものでした―常勤の先生方や保護者の方々にとってはまた別の感じ方をもたれているかもしれませんが―。それは職員室や生徒の様子から感じました。西中学校のいきいきとした雰囲気は、この自由さから作り出されているのではないかと思っています。私は大学の頃から、スクールカウンセラーの立場とは別の立場で、小・中学校で研修や仕事をさせてもらうことがありました。それぞれの学校によって雰囲気や空気は違いますが、「個性的」「自由」ということが西中学校の特色ではないかと私個人は思っています。物事にはプラスとマイナスの面があるので良い・悪いは判断できませんが、そういったところを教職員や保護者の方々に意識して大事にしていただけることをひそかに願っています。

ところで最近、教職員が精神的な不調をきたしてしまうというケースを見聞きします。学校の中に入り、先生たちの忙しさをみていると納得できるものがあります。しかし、精神的な不調は子どもにもおこるもので、特に思春期は身体と精神のバランスが崩れやすい時期でもあります。仲のいい友人や信頼できる大人に話すことで解決策が見出せたり、自分だけではないという安心感から落ち着くこともあります。しかし、やはり困難にぶつかったり、プライドを傷つけられる体験をしたときは、他人に話すことや、他人と関わることが嫌になることがあります。年齢的には大人な私でも、いまだに落ち込んだり、悩みます。そういったときは、ひとりで考えたり、「大人（他者）からは無駄だと思われるけれども自分にとっては必要な事」に没頭することも必要ではないかと思っています。悩むということは、それだけ真剣に考えているということであり、悪いことやおかしいことではありません。悩んで立ち止まってしまったとしても、それは今の自分から大きく成長するきっかけにもなるのです。ただ、悩んでいる自分を見守ってくれる人がいるというのは大事な事で、「見守る」ということは思春期の子どもに関わる大人の大事な役割の一つだと思っています。また、子どもの変化によって家族の関係性や役割が変化する時期でもあるので、保護者様にとっても悩み多き時期かと思います。

悩んでいる子どもや大人に対してスクールカウンセラーができることはほんの少しのことですが、一緒に考えていくことが私の役割だと考えていますので、ぜひお気軽にご相談ください。

相談日　：毎週水曜日　　10：00 ～ 16：30
（16：30 以降でも、事前に伝えていただければ予約可能です）
１０月／２４、３１日
１１月／７、１４、２１、２８日
１２月／５、１２日
場所　：西中学校・本館１階　カウンセリング室
予約方法：学校に直接お電話いただくか、担任・教頭を通してご予約ください。
連絡先　：西中学校（072）781 － 2974
または　781 － 2832